

日本数学コンクールフォローアップセミナー

# 数理ウェーブ

日時

平成28年6月25日(土) 13:30開場

場所

名古屋大学 多元数理科学棟509号室

プログラム

講演① 14:00～15:00

**佐藤雅大**

名古屋大学大学院多元数理科学研究科博士後期課程修了、博士(数理学)

**「直観主義論理入門～証明と計算の関係について～」**

数学者の主な仕事は定理を証明することです。時に証明のテクニックとして背理法というものをを用いることがあります。直観主義論理とは「証明時に背理法の使用を認めない」論理体型のことです。一見、そのような論理体型は非常に無茶な束縛に見えますが、背理法を使用しない証明は実は“計算手順”というのに対応するという不思議な事実が知られています(BHK解釈と呼ばれる)。今回の発表では直観主義論理と計算の関連性などを例をいくつか挙げて紹介していきたいと思えます。

講演② 15:10～16:10

**伊師英之**

名古屋大学大学院多元数理科学研究科 准教授

**「キャベツの黄金比～数学コンクールの問題から～」**

キャベツの葉の太い芯同士の角度を測ると、常に約137.5度くらいになることが分かります。この角度は360度を黄金比に分けたものにあたり、黄金角と呼ばれています。135度でも138度でもなく、この黄金角137.507...度であることが、キャベツが丸く引き締まった形になる秘密なのですが、何故だかわかりますか？2014年に出題されたこの問題の解説を通して、数学コンクールのユニークな魅力を紹介します。

**\*参加無料・事前登録不要\***

◆お問い合わせ◆

名古屋大学研究協力部社会連携課  
TEL:052-747-6484